

## 令和7年度 第3回千歳市廃棄物減量等推進審議会 結果概要

日時	令和7年9月8日(月)	開始	13:30	終了	15:10
場所	千歳市役所 第2庁舎 2階 3・4会議室				
出席者数	委員15名中12名出席	会議の成立	成立		
	途中出席者	0名			
	途中退席者	0名			
事務局出席者	渡邊市民環境部長、倉重環境センター長 【廃棄物管理課】 太田廃棄物管理課長、浦川総務係長、櫻庭総務係主任、稲垣総務係主任 宮城建設計画係長、石村建設計画係主任 【廃棄物対策課】 片山廃棄物対策課長、甲斐廃棄物対策係長、長崎資源循環推進係長				
傍聴者	0名				
報道関係者	0名				

会議録（発言要旨） 別添のとおり

## 令和7年度 第3回千歳市廃棄物減量等推進審議会 会議録（発言要旨）

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

唐澤会長より、本日は事務局より2件の審議事項とそれに関連した話があるとの連絡があり、委員の皆様には円滑な会議の進行に協力をお願いしたい。

### 3 議 事

#### (1) 審議事項

##### ① 家庭廃棄物処理手数料の見直しについて

第2回審議会で配布した手数料算定に関する資料を基に、改めて説明を行った。具体的には、これまでの手数料改定時の経緯や今回の令和8年度からの手数料改定の基礎資料となる、ごみ処理料や処理経費から算定したごみ処理原価を説明し、市としては、手数料の改定をしなければならない結果ではない（改定なし）と考えている旨を説明した。

《質疑等》

(委 員)

今回の家庭廃棄物処理手数料の見直しと、基本計画の中間見直しの関係を教えてほしい。

(事務局)

廃棄物処理基本計画とは、今後10年間の活動計画をまとめたものであり、計画開始5年目に中間見直しを行うこととなっている。これに合わせて、家庭廃棄物処理の手数料も5年ごとに見直しを行い、答申以降5年間はその金額となる。

(委 員)

物価高騰が叫ばれている昨今、指定ごみ袋の原価も上がっているのではないか。

(事務局)

今回の見直しにおいて、当然指定ごみ袋の原価も見込んで計算しており、その上で手数料をそのままにするという結論になった。

【結 果】

これ以外の質疑等はなかったため、審議会として、令和8年度から令和12年度までの家庭廃棄物処理手数料に関する事務局案について、了承するとした。

今後は、会長と事務局が協議し答申書案を取りまとめ、次回の第4回審議会において文言などを協議し、答申書を完成させることとなった。なお市長への手交は11月中を予定。

(事務局)

現在使用されているごみ袋の種類は、平成 18 年の有料化に伴い、従前の 450・300 の 2 種を 400・200・100 の 3 種に変更し、平成 24 年に単身用として 50 を追加し 4 種類のサイズにより、ごみの減量や単身世帯の適正排出等への誘導をしてきたところであるが、今回 300 のごみ袋を追加できないかとの問い合わせがあったことから、各委員の意見をお聞きしたい。市としては、これまで、市民からの同様の問い合わせがなかったことや、現状の種類を組み合わせにより対応可能であること、更には種類が多くなれば製造コストがかかることから、現行の 4 種類での使用に不便はないと考えている。

審議会委員の皆様は、ごみ袋のサイズについて、ご意見を伺いたい。

(委員)

市民からは特に 300 の袋が必要であるとの声は聞いたことがなく、既存の袋を組み合わせることで対応できることと、300 の袋を作ると 500 の袋が欲しいとの意見にも対応しなければならないことなどから必要性はないと考える。

(事務局)

参考ご意見として、拝聴させていただきました。ありがとうございます。

## ② 第 5 次千歳市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて

事務局より「千歳市一般廃棄物処理基本計画の中間目標年次における取組状況の検証」、「第 5 次千歳市一般廃棄物処理基本計画（初案）」、「同計画の改訂版（初案）」における新旧対照、「同計画の中間見直しスケジュール」について概要を説明した。

《質疑等》

(委員)

エコ商店認証について、どのような方法で認証店舗を増やしているのか。また、認証店舗が全体で減った理由はなにか。

(事務局)

毎年、新規開店する店舗に職員が直接訪問などを行い、制度を説明の上参加して頂いている。

全体的に認証店が減った理由は、店舗の閉店によるものである。

(委員)

この 5 年間に於いて事業系ごみが目標値を達成できていないとのことであるが、今後インバウンドなどの観光客がますます増加するものと考えられる。千歳市の観光計画では観光客の増加について見込んでいるものと思われる。観光客が増えれば、ごみの分別を意識しない人たちが益々増えることとなり、事業系ごみの計画については、その部分の整合性はとられているのか。

(事務局)

観光客の増加において、事業系ごみが今後も増えることはお見込みのとおりであります。事務局において事業系ごみの目標値が達成できない主たる原因は、事業系ごみの組成調査からごみ分別が不十分であり、本来リサイクルに回されるべき廃棄物が含まれていることに課題があるものと考えています。

そのため、事業系ごみを取扱う収集運搬業者に協力を仰ぎつつ、さらに啓発をおこなうことで、事業系ごみの減少につとめていきたいと考えており、この目標値としたところであります。

(委員)

市民の中には、住民票を移していない方が多くいるとの話をきいており、今年行われる国勢調査の結果を受けて、計画に反映したほうがいいのではないかと。

(事務局)

今年の2月に改訂した人口ビジョンは、大企業の進出やその関連企業の人口を含めたものとなっております。本計画の見直しにおいては、この人口ビジョンと整合を図ることとしていることから、ある程度対応した推計値になるものと考えております。

(委員)

昨今リチウムイオン電池の不適切な分別で火災になったという事件をニュースや新聞などで目にする機会が多くあるが、市民に分別の徹底を図る上でも啓発を強化したほうがいいのではないかと。

(事務局)

本市の環境センターにおいては、令和4年にリチウムイオン電池の不適切排出に係る破砕施設の火災があり、その対策として令和5年度に自動で水をかける装置を導入したところであります。現在でも、まれに不適切な分別による発火について報告されているところでありますが、対策の結果火事などの重大な事故には至っておりません。

また、発火を未然に防ぐ対策として、市のホームページでの掲載をはじめ、公式LINE活用するなど様々な情報媒体を使って、市民の方々にリチウムイオンバッテリーを含めた適正排出についてお願いしているところであります。今後も引き続き周知してまいります。

**【結 果】**

中間見直しについて報告済みとなったが、計画の見直しへの意見については、適宜、事務局に申告することとした。今後は、各審議会委員からの意見のほか、パブコメ意見も含め内容を精査したうえで、改めて見直し(案)として審議会に諮ることとした。

#### 4 その他

今後のスケジュールについて、事務局より通知

##### 第4回審議会

日 時：10月29日（水） 13時30分から

場 所：千歳市役所議会棟2階 大会議室

#### 5 閉 会